

1

今年度の結果と取り組みについて

(1) 全国学力・学習状況調査

○●国語●○

国語A

(領域ごと)

- ①□話すこと・聞くこと
概ね良好な結果であった。
- ②書くこと
良好な結果であった。
- ③読むこと
大変良好な結果であった。
- ④言語事項
良好な結果であった。

(問題形式)

- ①選択式
良好な結果であった。
- ②短答式
良好な結果であった。
- ③記述式
なし

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

国語B

(領域ごと)

- ①□話すこと・聞くこと
なし
- ②書くこと
大変良好な結果であった。
- ③読むこと
大変良好な結果であった。
- ④言語事項
なし

(問題形式)

- ①選択式
大変良好な結果であった。
- ②短答式
大変良好な結果であった。
- ③記述式
大変良好な結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

分析

全ての領域において良好な結果であった。
特に読むことに対しての力が強く、記述でも力を発揮している。

取り組み

- ・朝の読書活動や読書週間の取り組み、図書支援員の配置により読み聞かせや図書室の整理、休み時間に図書室を開放するなど読書を楽しめる環境を作っている。
- ・各学年、音読の宿題やクラスでのスピーチの取り組み、音楽劇などの発表会を行い、話す力を育む取り組みをしている。
- ・各学年、あのね帳や日記、作文の取り組みを行い、書く力を育む取り組みをしている。

○●算数・数学●○

算数・数学A

(領域ごと)

- ①数と計算
良好な結果であった。
- ②量と測定
大変良好な結果であった。
- ③図形
大変良好な結果であった。
- ④数量関係
良好な結果であった。

(問題形式)

- ①選択式
大変良好な結果であった。
- ②短答式
大変良好な結果であった。
- ③記述式
なし

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

算数・数学B

(領域ごと)

- ①数と計算
大変良好な結果であった。
- ②量と測定
大変良好な結果であった。
- ③図形
大変良好な結果であった。
- ④数量関係
大変良好な結果であった。

(問題形式)

- ①選択式
大変良好な結果であった。
- ②短答式
大変良好な結果であった。
- ③記述式
大変良好な結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

分析

全ての領域において良好な結果であった。

取り組み

- ・中学年のつまずきの多い時期に、習熟度の取り組みをし、丁寧な指導を行っている。
- ・教科研究部会で、算数科の問題解決学習の実践報告や、研究授業を行い、各学年の指導方法や児童の実態を交流し、研究を深めている。
- ・算数の宿題をどのクラスも毎日出し、間違い直しに対してもこまめに指導を行っている。
- ・算数科においては、重点的に支援教育サポーターや専門支援員に支援してもらい、子どもたちのつまずきを減らせるよう取り組んでいる。
- ・教科研究部会を中心に、算数科の教材作りを行い、視覚支援を行っている。

理科

(区分ごと)

- ①物質
大変良好な結果であった。
- ②エネルギー
大変良好な結果であった。
- ③生命
良好な結果であった。
- ④地球
大変良好な結果であった。

(問題形式)

- ①選択式
大変良好な結果であった。
- ②短答式
大変良好な結果であった。
- ③記述式
大変良好な結果であった。

(無解答率)

概ね良好な結果であった。

(その他)

分析

全ての領域において良好な結果であった。

取り組み

- ・高学年は理科専科の教員が実験など専門的な指導を行っている。
- ・教室で虫を育てたり、各学年の畑で植物を育てたりと、自然に興味を持てる環境づくりを行っている。
- ・理科室の備品を管理し、安全かつ児童が意欲的に実験を行える環境づくりに取り組んでいる。

○●経年比較●○

全体的な傾向についての分析

例年良好な結果，大変良好な結果で推移しており，全国平均より高い位置を維持している。

学力高位層と学力低位層についての分析

学力高位層は増え、低位層は少なくなっている。

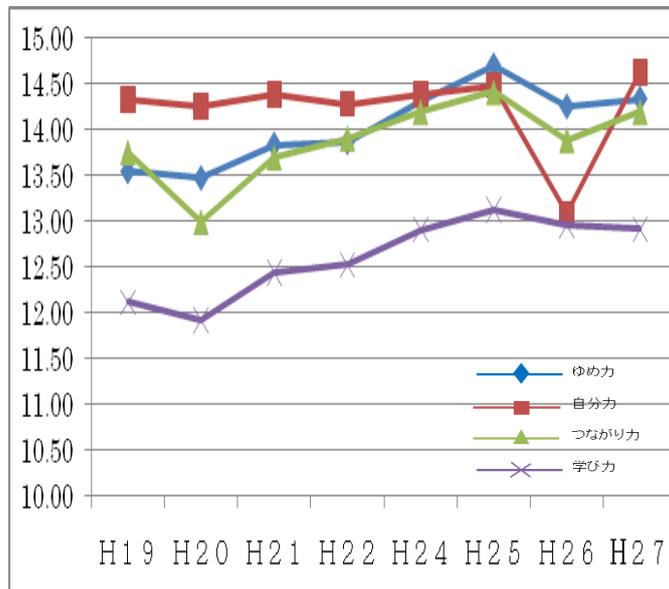
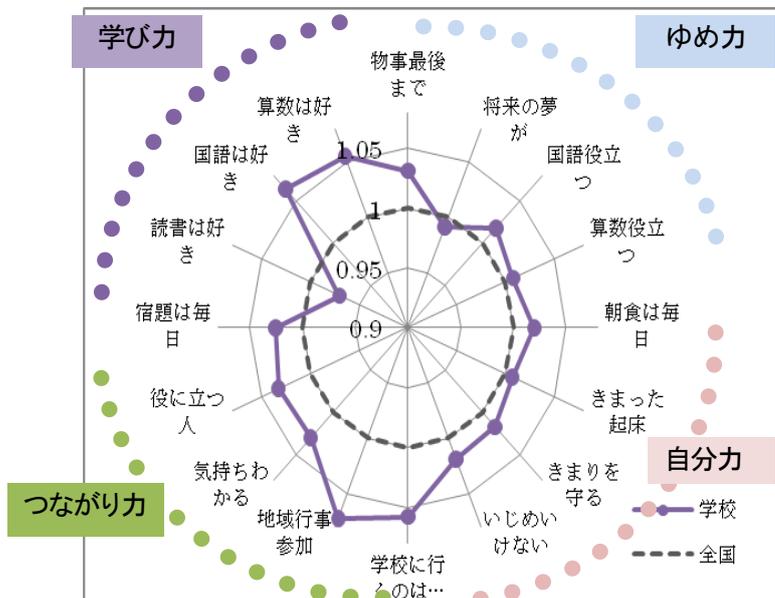
○●取り組み●○

学力向上に関する取り組み

- ・ どの児童にもよく分かり，主体的に学習する授業のあり方を研究している。
- ・ コミュニケーション能力の育成・取り組みの研究している。
- ・ 朝の読書活動や読書週間で本を楽しむ機会を持ったり、本の紹介を掲示したり、子どもに購入してほしい本のアンケートを取るなど、読書活動の推進をしている。
- ・ 学習ごとに、本時のふりかえりを書いたり、つかんだことをまとめたりする取り組みをしている。
- ・ 算数における習熟度別指導の実施をしている。
- ・ 算数科においては問題解決学習を校内で研究して意見交流を行い、4年生については、学習実践報告会、1年生、2年生、3年生、5年生、6年生については、研究授業を行っている。
- ・ 学習時に活用できるアイテム（カードなど）を作成し、共有している。
- ・ 支援チームと連携した個別の学習支援をしている。
- ・ 情報研修も行い、デジタル教科書や書画カメラなどICT機器の活用をしている。

今年度の結果

これまでの推移



分析

- ・「朝食を毎日食べて登校する」「毎日決まった時間に起床する」といったところのポイントが高いところから、家庭でも規則正しい生活を大事にしているということがうかがえる。
- ・「いじめはよくないことである」とほとんどの児童が答えているが、3%の児童はやや肯定的な答えを出している。低い割合ではあるが、いじめを許さない、見逃さないという姿勢を育てていく必要がある。
- ・90%近くの児童は、「学校へ行くのが楽しい」と答えているが、10%の児童は否定的で、学校生活のどのようなところを不満としているのかを注意深く見ていく必要がある。
- ・学校行事や地域での行事には多くの児童が参加をしているが、地域での結びつきは弱まる傾向にあるように思われる。(子ども会に入っていない児童が増えてきている)
- ・「読書がすき」は0.95ポイントとなっているが、読書量は多く、PTA読書会にもたくさん児童が参加している。いろいろなことに興味関心を持っていて、読書よりも好きなものがあるということではない。
- ・学習に取り組む構えができている児童が多い。学習への関心、意欲も高く、新たなことを知る活動には、目を輝かせている。
- ・善悪判断ができ、良くないことについては、友だちに止めるように助言することができる。
- ・就寝時刻はやや遅めだが、生活習慣が整っている家庭が多い。

取り組み

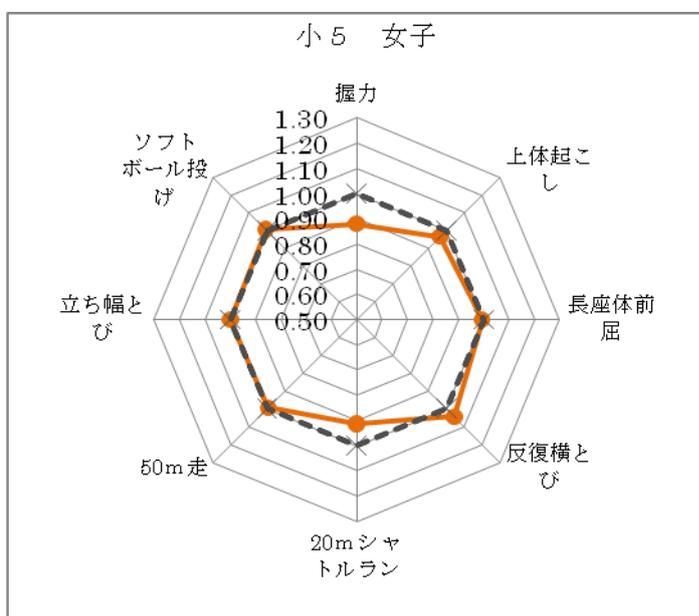
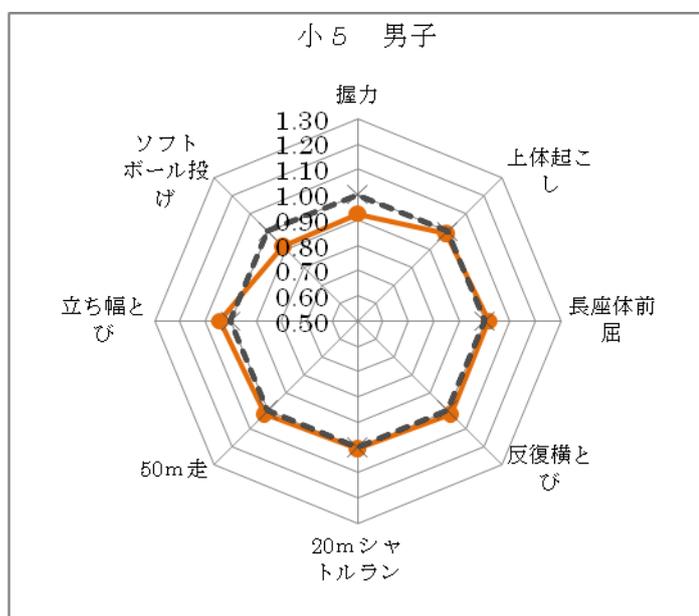
- ・人権を大切に、一人ひとりが輝き、共に学びあう子どもを目指している。
- ・スピーチやグループでの話し合い、聞き合う機会を設けている。
- ・日記や作文などで自分の思いを表現する機会を設けている。
- ・日々の学習活動に加え、体験学習・社会見学などを通して、学び力・考える力・解決する力を身につけさせるよう努めている。
- ・学級文庫の交換やブックトーク、貸出し本の予約制度や、おすすめの本を掲示するなど子どもたちが本を好きになるように取り組んでいる。
- ・生活指導上での問題については、朝会や学年、学級で児童への指導を続けていく。
- ・中条フェスティバル、兄弟学級の交流を通して、高学年は、自立活動、自主性、創造性を育てるように、低学年は、高学年の活動により学校へ行くのが楽しくなるように繋げている。
- ・運動会の応援団の取り組みを通して、高学年は責任感やリーダーシップを持つことができ、低学年は、高学年からの働きかけにより協調性を持つことができる。
- ・生活指導部会、特別活動部会で連携をして、廊下を歩きましょうの取り組みをするなど、きまりをまもる意識を持たせるようにしている。
- ・日記、作文、学習の振り返りなど、自分の思いや考えを表現する機会を設けている。
- ・おとなしい児童が多いので、自分の考えを安心して話せるような雰囲気作りに努めている。
- ・身体測定の時に、養護教諭が保健指導を行っている。(睡眠、食事、汗、尿などについて)

(2) 全国体力・運動能力、生活習慣調査

○●体力●○

男子 (小5 中2)

女子 (小5 中2)



分析

- ・全体的に偏りなく平均的な運動能力を有している。
- ・男女ともに握力の力がやや弱い。
- ・男子の遠投力、女子の持久力がやや弱い。
- ・長座体前屈や反復横とびは、男女どちらも前年度よりもよい結果である。
- ・50m走の平均タイムも男女どちらも前年度よりもよい結果となっている。
- ・アンケート結果によると、運動が好きな児童が男女どちらも増えている。
- ・児童の様子を見ると、ぶつかる、こけるなどでけがをする児童が多い。危機感知の力が弱いように思われる。

取り組み

- ・体力の実態把握、分析から水泳やボール運動などの実技研修を通して体力の向上に取り組むよう努めている。
- ・運動会やなわとび週間などの体育的行事を行い、児童が楽しく運動に取り組める機会を設けている。
- ・児童が安全で楽しく運動できるように体育備品を管理し、充実させている。
- ・学校と地域がいっしょになって、体を動かす機会を設けている。

2

3年間の計画

	(各校)		(ブロック共通)
	学力向上	体力向上	中学校ブロック連携
目標	基礎的・基本的な学力の向上	健康の保持増進・体力の向上	意思(自分力), 社会性(つながり力)を持って自立する子どもたち
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究・実践報告を通して「分かりやすく楽しめる授業」を目指す。 コミュニケーション能力を高めるための手立ての研究・実践に努める。 支援チームと連携し個に応じた学習支援を行う。 個に応じた指導を行い、学習場面の設定を交流していく。 学習理解を深めるための情報機器の活用を進める。 読書活動の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳の実技研による授業力の向上。 マットカリキュラムの各学年の実施。 ジャンプ台、逆上がり補助具などの器具の充実。 縄跳び週間など全校的な活動の実施。 跳び箱カリキュラムの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 合同授業研の実施(茨木小) 教科間の交流を目指す 研究授業の中小交流(案内の配布) オープンスクールへの参加 いきいきスクール(中学校教員による出前授業) 保育所、幼稚園との交流 連携担当者会議 ブロック目標の決定 学校事務の共同実施
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の振り返りを踏まえて目標を目指す。 授業研究・実践報告を通して「分かりやすく楽しめる授業」を展開していく。 コミュニケーション能力を高めるための手立ての研究・実践を進める。 支援チームと連携し個に応じた学習支援を推進していく。 個に応じた指導を行い、学習場面の設定をより深めるための実践をしていく。 学習理解を深めるための情報機器の活用を進める。 読書活動の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技研の実施(前・後期) 跳び箱カリキュラムの実施 補助具、器具の充実 全校的な活動の継続的な実施 水泳指導法の共有 児童の実態に応じた保健指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきスクール、オープンスクールへの参加と情報交換 合同授業研の実施(中条小・養精中) 学び合いのある授業を取り入れる ブロック連携カリキュラムの作成 連携担当者会議 学校事務の共同実施
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の振り返り、目標を目指す。 小学校6年間中学校3年間で意識した「分かりやすく楽しめる授業」の実践を行う。 コミュニケーション能力の研究・実践をさらに進める。 全校で共有できる学習場面の設定の実践に努める。 情報機器を使用した効果的な学習支援の実施に努める。 読書活動を通して情操を養い、進んで学習する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> マット、跳び箱カリキュラムの見直し。 器具の活用法の交流 実技研の実施 全校的な活動の継続的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2年目までの検証 合同授業研の実施(茨木小・中条小・養精中) 教科間の連携会議の開催を目指す 連携担当者会議 ブロック連携カリキュラムの完成 学校事務の共同実施